

法人（事業所）理念		私たちは子供達の未来の為に最善を尽くします		
支援方針		子どもは自らのうちに自分を成長させる力を持っており、大人はその要求を受け止め自由を保障することによって、子どもの自発的な活動を支援する存在でなければなりません。 「発達」の原動力は活動や経験、環境であると考えています。お子様一人ひとりの発達段階を理解し、科学的根拠に基づく知識と重要性を理解した指導員が発達をより良い方向へ導くために一人一人のお子様にあった環境を準備し提供致します。		
営業時間		平日：10時～18時 土曜日：9時～17時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食器具の操作：お箸、スプーン、フォーク操作の獲得だけでなく、左手の添え方や器の調整の仕方も含む。 スケジュールや絵カード：写真、シンボルのみ写した写真、イラスト、文字など、お子様に合わせた提示を行い、見通しをたて、意思を伝えられるようにする。 持ち物の管理：お子様に合わせた視覚手がかりを準備。		
	運動・感覚	サーキット：姿勢の保持、ボディイメージ、目と身体の協応 つまみ操作：2指でつまむ、3指でつまむなどを用意（ピック、シール、ペグなど） 筆記具の操作（クレヨン、けしごむ、鉛筆、はさみ、定規等）：写真や絵カード、シールでの目印等を用意し、適切な筆圧、持ち方を獲得する。 目と手の協応：必要なお子さんにはビジョントレーニングの課題を用意。見続ける力を向上させる。		
	認知・行動	太田ステージに基づいて実施。 ・触って分かるものを用意し、取り組めるものを増やす（粘土、型はめ、ままごと、クーゲルバーンなど） ・見て分かるものを用意する。見本をみて同じものを作る、手順書をみて自分で組み立てる（簡単なプリント、折り紙、ブロックなどの組み立てられる教具、パズル、絵合わせ） ・勝ち負けの理解：簡単なルールのある遊び（交代で行うなど）の実施、じゃんけんの理解含む。 ・文字の理解を促す（パズル、マッチング、プリント、文字積み木など） ・学習課題：お子様の発達像や保護者様のニーズに基づいて実施。LD向け支援あり。		
	言語 コミュニケーション	・どっちがいい？：すごく好きなものと、そうでないものを用意し、どっちがいい？ときいて指さして伝えることを促す。 ・「てつだって」「ちょうだい」「かして」を促す：課題の中であえて、手伝いが必要だったり、声掛けが必要な場面を作る。 ・プラス1語で伝え返す：指差しで伝えるお子さんには+単語、単語で伝えるお子さんには2語文、2語文で伝えるお子さんには3語文で伝え返すことでことばを伸ばす。 ・決まった声かけ：「せーの」「じゃーん」「だって○だから」など、言葉の課題に応じて、最初は声のかけ方を固定し、声のかけ方を頼りにして課題を進められるようにする。		
	人間関係 社会性	・順番に遊ぶ：コーチやお子様の写真を順番に並べるなど視覚の手がかりを用いる、「○さん、コーチ、○さん、コーチ」と声かけしながら取り組むことに慣れる。 ・SST：「こんなときどうする？」などあらかじめ一緒に考えたのち、グループ活動であえて似た場面を設定し、「さっきのと同じだよ」と伝えて、知識を実践につなげられるようにする。 ・待つ：待つために必要な支援（見通し、待ち方、カウント、環境設定など）をお子様に合わせて用意し、待てる時間を延ばす。 ・勝ち負けの切替：「勝っても負けてもかならずもらえるよ」とトークンを用意し、勝っても負けても渡すようにすることで、勝ち負けではなく最後まで参加することに意味を持たせるようにする。また、予め「負けたらどうする？」と一緒に考えることで、負けた時に対応できるようにする。 気持ちの切り替え：そのお子さんに合わせた見通し（ごほうび表、スケジュール提示）を用意する。		

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合室にていつでもモニター越しに療育の様子を見学いただくことが可能。</li> <li>・必要に応じて、療育の様子を一見して頂きながらフィードバックを行ったり、ご家庭でのご相談に応じている。</li> <li>・親子分離が難しい場合は、分離へのステップとしてお子様のペースに合わせて親子同室での療育支援から始め、ご家族と相談しながら進める</li> <li>・こどもの様子をお伝えするマンスリーサポートを毎月発行してご家族様にお渡し、必要に応じて園に渡せるようにしている。</li> </ul>	<p>移行支援</p>	<p>就学や進学に合わせて想定される知識や操作（就学前プログラム）を用意している。学校園とも積極的に連携し、関係機関連携加算や必要に応じて保育所等訪問支援に繋げる。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>保護者様のご希望に応じて、適宜地域との連携を行っている。 こどもの様子をお伝えするマンスリーサポートを毎月発行してご家族様にお渡し、必要に応じて園に渡せるようにしている。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>毎日お子様の支援の振り返りを行い、それぞれの専門的立場に基づいて助言指導を行っている      専門家の訪問による直接指導、研修受講      福祉制度、虐待防止と身体拘束、非常災害対策、感染対策等の衛生管理に関する研修      発達学の基礎研修、子どもの特性を理解するための研修      事例検討会の参加、専門職スタッフ向け研修</p>
<p>主な行事等</p>	<p>保護者向け茶話会など</p>		